鑑定評価書(令和 7 年地価調査)

令和 7年 7月 25日提出 福岡(林) - 9 林地-1

15,444

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社 毎長補償鑑定
福岡(林) - 9	福岡県	福岡第4	氏名	不動産鑑定士 姫野 哲次

鑑定評価額	386,000 円	1 0 a 当たりの価格	25,000 円/10a
-------	-----------	--------------	--------------

1 基本的事項

(1)価格時点	令和 7年 7月 1日	(4)鑑定評価日	令和 7年 7月 11日	(6)	[令和 7年1月]	円 / ㎡
				線	路線価又は倍率	倍
(2)実地調査日	令和 7年 7月 2日	(5)価格の種類	正常価格	価	倍率種別	
(3)鑑定評価の条件	当該土地に工作物又は立た	木等がなく、かつ、使月	用収益を制約する権利の存	しない	ものとしての鑑賞	定評価

地積 (m²)

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

浮羽町妹川字魚カエリ3327番1

所在及び地番

基											
举 準 地	土地の利用の 現況	周辺の土地の利 況		基準地 搬出地点 の搬出方	まで 点のi	直路 距離	駅及び	最寄集落 及び距離	公法上の 都計外 保安林・		_
	用材林地(杉・檜)	標高450m、約35度 の北向き傾斜の人工林地 域		集材機	市道	うきは		元有	- 保安林・地森計 - 県立公(3種)		
· • ·				5	50m 4	.0m	8.4km	0.7km	地域の特	寺性 木	林業本場林地
2) 近	範囲	東 400m、西	1,000m	、南1,00)0m、北1	,000m					
粦	標準的規模等	規模 20,00	00 ㎡程度	度、	形状 不整	形、	方位・個	頃斜度 (北)向35	°	
也或	地域的特性	特記 特になし			道 ¦4 m	市道	交通	 うきは駅南西 	————————————————————————————————————		┆ ┆都計外 ┆保安林
		事項			路¦		施設	 		規制	1 1
	地域要因の将 来予測	周辺には林地と	しての効]用に影響	を与える特	寺段の変化は	なく、当	当面は現状のま	きま推移す	るもの	と考えられる
3) i	最有効使用の判定	林地					``´Œ	 象基準地 な 個別的要	l I		
,	監定評価の手法 D適用	取引事例比較法	比準価	格	25	5,000 円/10	la 医	1			
		控除法	控除後	俭価格		/ 円/10	/ 10a				
		収益還元法	収益価	格		/ 円/10	a				
6) ī	市場の特性	同一需給圏は、福 後、ウッドショッ ある。中心となる	/クから-	一部上昇に	転じたもの	つの、近年はま	また需要	は落ち着きつつ			
)	式算価格の調整 及び鑑定評価額 D決定の理由	比準価格は、同一、宅地への転換のであるため、収益	可能性に	こ乏しい地	対域であるだ	こめ、控除法に	こよる価値	格の試算は断る	えした。まれ	た、林美	業収益の把握が困
۶۶ 8)	秤量的検討な	が可能である	できない	. 1							
元面と	標準地番号	時点修正		票準化	地域要 因の比 較	個別的 要因の 比較	価格	準地の規準 / ㎡) 訴		然	地 交通 域 自然 要 宅地化
を 現	i 公示価格	_ [] 1	100	100	[]			正 行	政	行政
■格	†	円 / m² 100]]	[]	100			その	他	その他
9) 寸標 ^၃ 準	~~~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	新規		価動 格状	要因,	林業経営は、あり、概ね	一部持 黄這い傾	ち直しの傾向か 向にある。	「見られたか	が、近年	は落ち着きつつ
1. 価値を	前年標準価格	25,000 P	月 / 10a	形成要因	(地域)	うきは市は 大市場が存 ^っ	「うきは するなど	市林業・木材産 林業経営の環境	€業振興ビミ 気は良好であ	ブョン」 5る。	が策定され、原
前σ 手模				の	/ 個別的 `	個別的要因	こ変動は	ない。			
干的	が手り	率		変	要 因	J					
	年間 (0.0 %									

3 試算価格算定内訳 福岡(林) - 9 林地-2

. , ,	比準価格			₩731n+	**	エルゴ主		+#=	= //5	1 ~~	13	د جد خد ۲	Z+/r±1.0	** A L	O +0 #1/25	1161-
NO	取引 番号	事例	所在及び地番	取引時点	型	地積	(m²)	標的	高・傾斜	持		路、交流 代況	通施設の	法令上(の規制等	地域の特性
а	うきは7 (林) - 10	7 C 3	きは市		森林 の土 地所 有権				150 r 10 度、ī 普通		5			者 店十夕 外 地域森林計画対象	民有林	農村林地
b	うきは、 DH(木		きは市		森林 の土 地所 有権				300 r 23 度、 肥沃		3			者 邓言十夕卜 地域森林計画対象	民有林・保安林	農村林地
С	朝倉70 H(林)		記		森林			標高 傾斜 土壌	485 r 40 度、ī		3			(都) 地域森林計画対象	民有林・保安林	林業本場林地
d	筑前70 H(林)		启 郡筑前町		森林			標高 傾斜 土壌	419 r 25 度、:		9			(者多) 地域森林計画対象	民有林	林業本場林地
е	-							標高 傾珠 樹種	r 度、	n [f	1					
NO		価格 /10a)	事情補正	時点修正	標準正	化補	推定 (円 /	価格 10a)	地域 の比			[標準価] / 10a)	個別的	要因の比較		查定価格 (円/10a)
a	(2	7,000	100 [100.0]	[100.0] 100			2	7,000	<u>100</u> [110.			24,545	交通・接 ・自然		.0	24,500
b	(2	8,000) <u>100</u> [100.0]	[100.0] 100			28	8,000	<u>100</u> [104.	0]		26,923	宅地化		.0	26,900
С	(2	2,000	100 [100.0]	[99.1] 100			2	1,802		0]		23,194	行政・その他		.0	23,200
d	(2	8,000	100 [100.0]	[<u>99.1</u>] 100			2	7,748	<u>100</u> [110.	0]		25,225		·		25,200
e	(100 [100	100]			100 [_,				[100 .0	0]	
NO	ア事情の内容		・ ウ標準化補正	の内訳						工地	域要因(の比較の	内訳			
а	正常	%/月 0.00	交通・接近	0.0 自然		0.0	宅地化		0.0	交通	・接近 	0.0	¦自然 └	0.0	宅地化	+10.0
		0.00	行政	0.0 その	他	0.0				行政		0.0	その他	0.0		
b	正常	%/月 0.00	交通・接近	0.0 自然		0.0	宅地化	ے 	0.0	交通	•接近 	+4.0	 自然 	0.0	宅地化	0.0
			行政	0.0 その	他	0.0				行政		0.0	その他	0.0		
С	正常	%/月 -0.09	交通・接近	0.0 自然		0.0	宅地化	<u>.</u> 					¦自然 └		宅地化	0.0
		0.00	行政	0.0 その	他	0.0	ı			行政		0.0	その他	0.0		
d	正常	%/月 -0.09	交通・接近	0.0 自然		0.0	宅地化	ے 	0.0	交通	・接近 	+10.0	¦自然 └	0.0	宅地化	0.0
		0.00	行政	0.0 その	他	0.0	Т			行政		0.0	その他	0.0		
e		%/月	交通・接近	自然			宅地化	ے 		交通	・接近 		, ¦自然 └		宅地化	
			行政	゚゚その	441					行政			その他			

才比準価格決定の理由 〔比準価格: **25,000**円/10a〕

(2)	控防	徐後価格算	章定内部	控除	法が適用	できない	理由	宅地へ	の転換の可	能性に乏し	ん1地域の	のため				
H				更地を想定												
の	更地	後・造成 を想定し (円/㎡	たしを	前効宅地化率 乗じた価格 (円/㎡)	造成	工事費 (円/㎡)	負担金	益施設 : / m²)	(+	資本収益)× np(円 月 p:	/ m²) %	般管	費及び- 理費 円 / ㎡		き引額(円) - (+ + +	,
			(%)												
- 1	设下			後の価格						要因の比較		控除	後価格	×	,	
	n:	月 p	:	% (円/㎡)		% m:	年(円 / m²))						(円	/ 10a)
-	1 I+np	· :			$\frac{1}{(1+r)^r}$	m :] 00						
(2)	- 2車	- 換後・道	 造成後σ)更地を想定	⊥ した価格											
取引	NO	取引		取引価格 (円/㎡)	事情补 正			付減 補正	標準化補正	地域要 因の比較	推定格(円	標準価 / ㎡)	個別 比較	的要因6		価格 / ㎡)
事	а				100		1 40	20	100	100			街路			
例比					100 [] 100	<u> </u>	00	<u>100</u> []	<u>100</u> []			交通·持	接近		
較	b	-											環境			
法					100] 10		100	100			画地 行政			
		-			[] 100	[]	[]	[]			その他			
	С				100] 10	00	100	100					1	
		-] 100	l]	[]	[]				100		
	NO	事情の内容	月率 変動率	☑ │ 標準化剤 ☑ │ │	甫正の内	訳				地域要認	因の比較	の内訳				
	а		%/月	街路		交通・接近		環境		街路		交通	・接近		環境 	
				画地		¦行政		その他	<u>b</u>	行政		¦そのf				
	b		%/月			交通・接近		□環境		街路		77777	・接近 		環境 	
				画地		¦行政		├その他	<u> </u>	行政		¦そのf				
	С		%/月			交通・接近		□環境 □ □ その#		街路 			•接近 		環境 	
	_	レ油 /エ+ク		画地		行政		_ ~ WIL	<u> </u>	行政		\ そ のf	<u>u</u>		円/	, m ²
		比準価格 		番号又は基準	\ \ \ \ \ \ =	-/=±2 ♥ I+	0± ±	修正	抽油ケルカ	+#+======	□ +# =9	定標準備	F. + 47 /F	可以你面	1	
内(域)	か類 ^ん こあ	似地 り る転	医华地省 也番号	15人は基件		続価格又は ■価格(円/㎡		(1)STE	標準化補 正	地域要認 の比較		巴德华加 円 / ㎡		国別的要 国の比較	比準価格	
		造成示価					1	_1	_100	_100]		
		標準 らの		-			100		[]	[]				100		
検		1	地域要因	国の比較の内	訳		街路		交通・接近	fi	環境		行政		その他	
転	负後	·造成後の	の更地を	想定した価値	恪										円/	m²
(2)	-3想	定開発区	区域の概	祝及び想定	開発工事	の概要										
1		区域面積		佳		m³ m³	*擁壁	工事の権	既要		*	公園緑	地の工事	■の概要		
ı		既存公共 形態:	用地山	貝		m										
		用途モデ	゚ル:													
I		区域の範 m、西		準地を中心と m、南	:して) m、北	m	* 法吃	工事の権	u as		*	水送工	事の概要	Б		
東 *		区域の土			111、 10	m	"追陷。	上事の作	纵女		"	引込		ζ		m
田		%、畑	%、	森林 9	6、 そ の1	他 %					*		事の概要	Ę		
		画地数	1 =			画地						引込	延長			m
ı		地平均面 盛土高	槓			m' m	*排水	工事の相	既要		*	その他				
ı			減歩率	(又は非有効	部分)	%										
		公共用地				%										
[*;	造成:	後の減歩	率			%										

(備考)

転換後・造成後の公示価格及び標準価格からの検討の適用が困難な理由

(3)収益価格算法	定内訳										
(3)-1 A式(宅均	地等への転換可	能性がない	1か又はほ	まとんと	だない地域に	ある基	準地の場	合)			
ЧΣ	λ		林費の後	価合	差引額	Ą		還元した		管理費資本	収益価格
主 伐	間伐の後価さ				+ -		÷		/ 10a)		
(円/10a)	(円/10a	a)	(円/1	Oa)	(円	/10a)	r:	% u:	年	(円/10a)	(円/10a)
(3)-2 B式(宅	地等への転換可	丁能性があ	る地域に	ある基準	準地の場合))					
収入	純収益率	純収益			益価格(A)			・造成後		宅地化率を乗じた	造成工事費
				÷	- (1+r) ^u (円/		の更地	を想定し	価格		
(円/10a)		(F	9/10a)	r:	% u:	年		円/㎡)		(円/m²)	(円/m²)
	100								100		
付帯費用	転用見込時				別後に得			における		か現在価値	収益価格
×	る素地価格 	<u> </u>	られる		きの総和 ,000	価 	值増分 -		×	$\frac{1}{(1+r)^{m}}$ x 1,000 $(1+r)^{m}$ $(1+r)^{m}$ $(1+r)^{m}$ $(1+r)^{m}$	+
、 (円/㎡)	((円/m²)			,666 [円/㎡)		(円	/ m²)	m:	年、r: %	(円/10a)
:											
(0) 0 1 -12 -11		m + ++ 1	11300-5	Im/-							
(3)-3 A式又は は収益還元	:B式を用いた理 法を適用しなか		林業収益	の把握	が困難であ	るため					

4 不動産ID

Νo	所在及び地番	不動産ID
1	うきは市浮羽町妹川字魚カヱリ3327番1	2905000098524-0000
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
備考		1